



グラフィソフトジャパン株式会社

会社説明

グラフィソフトジャパン株式会社は、建築・建設業界におけるデジタル変革（DX）の核心を担う「BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）」のパイオニアです。同社は、ハンガリーのブダペストに本拠を置く Graphisoft SE の日本拠点として1996年に設立されました。親会社である Graphisoft は、1982年にハンガリーで誕生し、1984年には当時としては画期的だった Apple Macintosh 向けの建築 CAD ソフト「Archicad」をリリース。これが後の BIM コンセプトの先駆けとなり、現在もなお世界100カ国以上で数十万人の建築家に愛用されています。

グラフィソフトの最大の特徴は、その開発哲学にあります。「Architects at Heart（建築家の心を理解する）」というスローガンの通り、ソフトウェア開発のプロセスに建築の専門知識を深く取り入れ、技術者が使うための道具ではなく、デザイナーやクリエイターがその創造性を最大限に発揮できるような直感的かつ流麗なユーザーインターフェースを追求しています。主力製品である「Archicad」は、3Dモデルを中心とした設計手法により、図面作成の効率化だけでなく、建物に含まれるあらゆる属性情報を一元管理することを可能にします。

日本国内においても、グラフィソフトジャパンは25年以上の歴史を持ち、日本の複雑な法規や緻密な施工精度を求める独自の市場ニーズに応え続けてきました。国内の主要な組織設計事務所やゼネコン（総合建設会社）での導入実績も豊富で、日本の建築文化に深く根ざしたサポート体制を構築しています。近年では、単なる設計ツールの提供にとどまらず、クラウドベースの共同作業環境「BIMcloud」を通じて、物理的に離れた場所にいる設計チームがリアルタイムで一つのモデルを編集できる仕組みを提供。これにより、コロナ禍以降のテレワーク需要や、大規模プロジェクトにおける多拠点連携を強力に支えています。

また、モバイル端末で3Dモデルと2D図面をシームレスに閲覧できる「BIMx」は、建設現場での情報共有や、クライアントへのプレゼンテーションにおいて圧倒的な利便性を提供し、建築業界のコミュニケーションのあり方を根本から変えました。親会社である Graphisoft は、現在ドイツの建築・建設向けソフトウェアの巨大グループである「Nemetschek（ネメチェック）グループ」の傘下であり、同グループ内の他のソフトウェアとの連携（Open BIM）を推進することで、特定のメーカーに縛られない自由でオープンなデジタルワークフローを提唱しています。

求人広告の観点からは、同社は少人数のプロフェッショナル集団でありながら、グローバル企業としての安定性と、最先端テクノロジーを扱うクリエイティブな社風を併せ持っている点が大きな魅力です。外資系企業ならではのフラットな組織文化と、日本市場に深く関わる責任感の両方を経験できる環境と言えるでしょう。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

建築・建設業界向け BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）ソフトウェアの開発・販売・サポート。主な製品に「Archicad」「BIMcloud」「BIMx」など。

代表取締役

トロム・ペーテル（Péter Trom）

設立年

1996年6月（日本法人設立）

資本金

2億6,500万円

従業員数

11 - 50人

URL

<https://www.graphisoft.com/jp/>

オフィス情報

メインオフィス

〒1070052

東京都港区赤坂3-2-12

赤坂ノアビル4階